

# 令和元年8月 東京地区百貨店売上高概況

令和元年9月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	1, 159億円余
2. 前年同月比	4.7% (5か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭5.4%(90.5%) : 非店頭-1.6%(9.5%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (令和元年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	835,368㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	17,128人 (前年同月比:-4.5%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 -1.0%、2-4月 -0.2%、3-5月 -0.6%、 4-6月 -1.2%、5-7月 -1.9%、6-8月 -0.1%

[参考] 平成30年8月の売上高増減率は1.6%

### 【特徴】

- (1) 8月の東京地区の入店客数は2.2%増と3か月ぶりにプラスした。各社が企画した催事や夏休みのファミリーイベント、会員向け施策等が奏功した。また、好調が続く高額商材や、中旬頃までの猛暑による盛夏アイテムの活況、更には改装効果なども加わり、売上高は4.7%増と5か月ぶりにプラスに転じた。消費増税前の駆け込み消費については、高級時計など高額品や紳士服、家具、和洋酒など一部商品で動きが見られた。
- (2) 商品別では、主要5品目全てで前年をクリアした。このうち、売上高全体に占めるシェアでは雑貨(11.9%増)が25.9%と最も高い値となった。時計、絵画、宝飾など高額商材(美術・宝飾・貴金属)は34.1%増と前月より21.0ポイントアップし、コスメフェアなどのイベントも好評だった化粧品は3か月ぶりにプラスに転じた。
- (3) 衣料品(3.9%増)は、天候与件から盛夏商材が好調だった。また、オーダースーツなどビジネス関連が伸長した紳士服・洋品(10.5%増)は、二桁増と高い伸びを示した。特選衣料、ドレス、ジャケット、肌着、プロパーの実需アイテム、秋物商材も堅調だった。
- (4) 身のまわり品(2.1%増)はラグジュアリーブランドのバッグやビジネスシューズ、サンダル、カジュアルシューズが動いた。食料品(1.9%増)は、物産展など食品催事が盛況だった他、手土産需要の和洋菓子や、ビール、ワインなど酒類が好調だった。一方、青果などが不調だった生鮮食品はマイナスした。
- (5) 各社が実施している催事が好評で集客に寄与し、9月中間段階の商況は、5.4%増(9/17)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.9日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 9店、②変化なし: 9店、③減少した: 1店
- (3) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数13店舗)  
①増加した: 3店、②変化なし: 10店、③減少した: 0店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2019年8月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>115,906,049</b>	<b>100.0</b>	<b>4.7</b>
紳士服・洋品	7,781,725	6.7	10.5
婦人服・洋品	17,150,870	14.8	1.0
子供服・洋品	2,061,065	1.8	2.1
その他衣料品	1,999,947	1.7	7.6
<b>衣 料 品</b>	<b>28,993,607</b>	<b>25.0</b>	<b>3.9</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>16,949,031</b>	<b>14.6</b>	<b>2.1</b>
化粧品	13,972,315	12.1	4.3
美術・宝飾・貴金属	10,783,442	9.3	34.1
その他雑貨	5,233,708	4.5	-2.4
<b>雑 貨</b>	<b>29,989,465</b>	<b>25.9</b>	<b>11.9</b>
家具	1,297,821	1.1	-6.9
家電	1,054,745	0.9	24.2
その他家庭用品	2,841,457	2.5	-3.6
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,194,023</b>	<b>4.5</b>	<b>0.1</b>
生 鮮 食 品	3,929,688	3.4	-0.9
菓 子	7,987,269	6.9	2.7
惣 菜	6,181,122	5.3	0.3
その他食料品	8,230,239	7.1	3.8
<b>食 料 品</b>	<b>26,328,318</b>	<b>22.7</b>	<b>1.9</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,190,015</b>	<b>2.8</b>	<b>-3.0</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,382,424</b>	<b>2.1</b>	<b>15.9</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,879,166</b>	<b>2.5</b>	<b>-6.5</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,647,092 千円	-5.6
従業員数	17,128 人	-4.5
店舗面積	835,368 m <sup>2</sup>	-0.7
営業日数	30.9 日	前年 30.9 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が7か月連続、食料品、家庭用品が2か月連続、身のまわり品が5か月ぶり、衣料品が10か月ぶりのプラスと、全品目がプラスとなった。その他の品目は、菓子が12か月連続、美術・宝飾・貴金属が7か月連続、惣菜が6か月連続、家電が3か月連続、子供服・洋品が2か月連続、紳士服・洋品が2か月ぶり、化粧品、その他食料品が3か月ぶり、婦人服・洋品、その他衣料品が6か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>4.7</b>	<b>—</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	10.5	0.7	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	1.0	0.1	6か月ぶりプラス
子供服・洋品	2.1	0.0	2か月連続プラス
その他衣料品	7.6	0.1	6か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>3.9</b>	<b>1.0</b>	<b>10か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>2.1</b>	<b>0.3</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
化粧品	4.3	0.5	3か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	34.1	2.5	7か月連続プラス*
その他雑貨	-2.4	-0.1	7か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>11.9</b>	<b>2.9</b>	<b>7か月連続プラス</b>
家具	-6.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	24.2	0.2	3か月連続プラス
その他家庭用品	-3.6	-0.1	14か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続プラス</b>
生鮮食品	-0.9	-0.0	11か月連続マイナス*
菓子	2.7	0.2	12か月連続プラス*
惣菜	0.3	0.0	6か月連続プラス*
その他食料品	3.8	0.3	3か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	<b>1.9</b>	<b>0.4</b>	<b>2か月連続プラス</b>
食堂喫茶	-3.0	-0.1	12か月連続マイナス
サービス	15.9	0.3	3か月ぶりプラス
その他	-6.5	-0.2	2か月連続マイナス
<b>商品券</b>	<b>-5.6</b>	<b>-0.1</b>	<b>11か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>